



おくたま 町議会だより

第195号

令和2年11月5日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

台風19号から1年が経ちました

奥多摩町に甚大な被害をもたらした台風19号
被災された地域の復旧が進んでいます

大丹波の名坂線林道の復旧状況



復旧前



復旧後

コロナ禍でも元気な子ども達



伝統の氷川獅子
氷川小運動会の様子

第1回臨時町議会

令和2年8月20日、第1回臨時会が開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、賛成多数により同意されました。

【人事】

○議案第52号

副町長の選任の同意

副町長、加藤一美氏の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。

・井上永一氏(新任)

(氷川1834番地)

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月8日から9月18日までの、会期11日間にわたり開催されました。

令和元年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間にわたり行われた決算審査について、代表監査委員佐久間勝氏による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く10名で構成する決算特別委員会に審査付託されました。

9月15日、16日の2日間にわたり開会された決算特別委員会で、内容説明、質疑等が行われ、18日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号

一般会計

○認定第2号

都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告(監査委員)

令和元年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証明書類とも照合の結果、決算の計数に誤りなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《令和元年度、奥多摩町における健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類とチェック表とを照合の結果、計数等は、すべて正確で、適正に書類が作成されていた。その結果、健全化判断比率及び資金不足比率についてはともに良好であると認める。

決算特別委員会質疑

決算特別委員会では、次のことについて、質疑を行いました。

○一般会計

- ・都市町村災害復旧・復興特別交付金の基金造成事業分の内容
- ・旧古里中学校校舎等の貸家料の内容
- ・ふるさと納税の増加理由と返礼品の反響
- ・観光施設使用料減額の内容
- ・都町村会負担金の内容

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決、同意されました。

【 条 例 】

○議案第53号

町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○議案第54号

介護保険条例の一部を改正する条例

○議案第55号

防災会議条例の一部を改正する条例

【 報 告 】

○報告第2号

令和元年度決算における奥多摩町健全化判断比率

○報告第3号

令和元年度決算における奥多摩町資金不足比率

関との連携

へき地専門医療確保事業費の減額理由

健康に関する組織の連携

西川線林道の現在の状況と繰り越し理由、今後の予定

青目立不動尊休み処進入路改修工事の内容

丹三郎(水神前)・小丹波(竹ノ平) 地内住宅買収用地の活用方法

有害鳥獣の新たな対策効果

簡易給水施設の一元化

観光施設駐車場の利用料

東京都治山林道協会負担金の内容

木質バイオマス推進事業費過年度都補助返還金の内容

木材の買い取り後の活用方法

奥多摩小屋の協議経過

ワサビ田の復興状況

森林セラピー事業の今後

観光客誘致宿泊補助事業の協議経過

観光総務費印刷製本費の内容

観光パンフレット「奥多摩＋I NG」有料化の意向

町公営住宅退去時の維持補修

電子計算機開発費の内容

氷川(大氷川) 地内用地等買収費の内容と路線価

新庁舎建設調査業務委託の内容

減債基金運用収益の内容と記載の仕方

ホームページ音声読上機能の修正とその後の対応

子育て応援住宅の決算額、附帯工事の内容

選挙ポスター掲示板設置・撤去委託の内容

重度障害者(児)タクシー乗車料金等助成事業費の内容

子どもに対する安心安全確保対策支援事業の古里保育園と氷川保育園の内容

地域見守りネットワーク事業の協定先

可燃ごみ量の減少理由と古着の今後の回収

社会福祉委員費の内容

観光客のごみのマナー対応

猫用捕獲カゴの準備数

環境保全員の役割

地域福祉推進交付金の内容

自殺対策事業費の内容と他機

○報告第4号

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(令和元年度分)

【人事】

○議案第56号

教育委員会委員の任命の同意
榎戸詠子氏(新任)
(大丹波850番地)

【補正予算】

○議案第57号

一般会計(第3号)

○議案第58号

都民の森管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第59号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第60号

国民健康保険特別会計(第2号)

○議案第61号

後期高齢者医療特別会計(第1号)

○議案第62号

介護保険特別会計(第1号)

○議案第63号

下水道事業特別会計(第1号)

議員提出議案

次の議案が提出され、全議員の賛成により可決されました。

○議員提出議案第1号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

議会だよりのご感想をおよせください

また、議会に対するご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

町議会から国へ意見書を提出 議員提出議案第1号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し

地方税財源の確保を求める意見書(抜粋)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1 地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実。発行額の縮減に努め、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目について、弾力的に対応すること。
- 4 国税・地方税の政策税制は、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続は、有効性を判断すること。
- 5 固定資産税は、重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月11日

東京都西多摩郡奥多摩町議会

内閣総理大臣 他9大臣 宛て

一般質問

令和2年第3回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、12月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。
また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 7番 澤本 幹男議員(6ページ)

①奥多摩町のこれからの財政について

(2) 9番 石田 芳英議員(6ページ)

①杉・檜から広葉樹等への樹種転換の町独自制度の構築を

(3) 11番 高橋 邦男議員(7ページ)

①森林資源の活用について
②高齢者対策事業の現状と今後について

(4) 3番 相田恵美子議員(7ページ)

①障害者差別解消法に基づく町の取りくみの現状について

(5) 5番 木村 圭議員(8ページ)

①町が貸している住宅について

(6) 4番 小山 辰美議員(8ページ)

①子ども達の体力について

(7) 8番 小峰 陽一議員(9ページ)

①昨年発生した台風19号の災害復旧状況と今後の対応について

(8) 1番 伊藤 英人議員(9ページ)

①持続可能な観光立町のためのルール策定について(町営駐車場の運営等)
②コロナ後の定住化対策と雇用について
③森林環境譲与税、森林環境整備基金用途の提案

(9) 10番 宮野 亨議員(10ページ)

①介護・障がい者施設等へのPCR検査とBCP(事業継続計画)作成について
②公明党実施の防災アンケートと水害、土砂災害について

(10) 6番 大澤由香里議員(10ページ)

①町営駐車場の有料化について

(11) 2番 森田 紀子議員(11ページ)

①コロナ禍での奥多摩町におけるワーケーションの促進について
②奥多摩町における介護予防活動について



新会 清澤 幹男 議員
みきお さかもと

問 奥多摩町のこれからの財政について

答 身の丈にあった財政運営の推進を図り住民へのサービス低下を招かない

質問 今年度の奥多摩町の予算は

昨年の台風19号被害の復旧対策費を含め過去最大の予算規模となっている。一般会計では歳入の町税は6億9千万円だが、国の交付税と東京都の支出金は合計で43億円であり歳入の63%を占めている。今年の新型コロナウイルス対策で国と東京都は相当額の支援をしております。後は国の交付税と東京都の支出金は大幅な減額が予想される。そうなるとうまで行っていた住民へのサービス低下や諸計画が縮小や見直しで未実行になつてしまふ。

①来年度以降の予算をどの様に考えているのか。

②様々な基金を積み立てているが、取り崩しは考えているのか。

③東京都市町村総合交付金をどの様に考えているのか。

町長 ①町の財政は自前で調達できる財源が乏しく、国と東京都へ財

源を求める割合は年々高くなつて

いる。予算規模は各種施策を展開するため拡大を続けている。また多くの施設の維持管理費や更新時期を迎えている公共施設の改修費用等財政負担は増加する傾向にある。新型コロナウイルス対策で国は国債を発行し、東京都は財政調整基金の9割を取り崩しており、当町の来年度以降の予算規模について不安を抱く状況になつている。

②基金の重要性は増している。しかし財政調整基金については取り崩しも辞さない考えである。

③総合交付金は毎年15億円を超える多額の交付を受けて安定的な財政運営ができています。コロナ禍で今年度は戦後最悪のマイナス成長となり、総合交付金は今後厳しい状況と予想されるが予算割れをしない

ような見直しを行い、住民生活へ支障が出ないようにする。

町長



会 民ファーストの会 石田 芳英 議員
いしだ よしひで

問 杉・檜から広葉樹等への樹種転換の町独自制度の構築を

答 長期的な視点で研究する

質問 奥多摩町における森林管理

は、必ずしも住民皆さんからのニーズや要望にきめ細かく対応できていないケースがある。もつと使い勝手のいい町独自の仕組みを構築して実施できるようにすれば、その時々々のニーズや要望に的確、有効に対応でき観光立町に合った町づくりが実施できるのではないかと。①杉檜から落葉広葉樹や花木等への樹種転換のニーズや必要性に対し、臨機応変に対応を可能とする町独自の制度の構築が必要と思われるが、お考えは。

②氷川愛宕山に関してもっと東京都と協働してニーズに合った事業実施すべきと思われるが、体制や協議は。

町長 ①議員からは「町独自の制度の構築が必要では」とのご提案をいただいた。まずは、手入れ不足等により荒廃した森林の杉、檜の間伐や

枝打ちを行うことで、健全な森林を再生し、本来の姿である森林の公益

町長

的機能を回復させる取り組みを優先してまいりたい。樹種転換への町独自の制度の構築については、自治体単独では、実現に至るまでの財政的にも険しい道のりが想定される

所だが、住民皆様のニーズや要望等に耳を傾け長期的な視点で経済並びに環境の両面から今後研究してまいりたい。

②氷川愛宕山に関しての今後の協議については、東京都では園地内の巡回等を行っている都レンジャーや奥多摩ビジターセンターからの情報等を踏まえつつ、東京都と奥多摩町との二者により協議を行って

いく予定であり、町としても地域住民や町を訪れる多くの方々により親しまれるエリアになるよう東京都と連携していく。

町長

町長



山なみ会
たかはし くに お 議員
高橋 邦男

問 森林資源の活用について

答 関係者の皆さんの声をお聞きし、実現に向け努力していきたい

質問 町は、緑豊かな森林に恵まれ
町外の皆さんからも親しまれている。
しかし、その一方で林業の衰退によ
り手入れがされない森林が増え、
様々な弊害も生じており、町の大き
な課題の一つになっている。今後、
森林保全とともに、森林資源の活用
の幅を広げることが必要である。そ
こで、町長が考えている「森林資源
の活用ビジョン」と現在進めている
森林保全と資源の活用の現状につい
て問う。

町長 町では、森林の公益的機能を
回復させるため、都の委託を受け、
「森林再生事業」として間伐を、「水
の浸透を高める枝打ち事業」として
枝打ちを長きに渡り実施している。
このように、間伐や枝打ちを行うこ
とで森林整備は進められているもの
の、その「材」の活用については
思うように進んでいないのが現状
である。今後の「材」の活用につい

ては提案された「山のふるさと村」
や「都民の森」などの活用や昨年度
から譲与が始まった「森林環境譲与
税」を活用した新たな事業など、
様々な活用方法の検討も必要と考
えている。「森林資源の活用ビジョ
ン」に対する私の基本的な考え方は、
今ある財産「木材」、「人材」、「休
施設」の再発掘で、自然豊かな町を
見つめ直すことであり、町の面積の
94%を占める森林を活かさない手
はないと考えており、「森林資源の
活用」もその一つで、関係者の皆さ
んの声をお聞きし、実現に向けて努
力していきたい。



質問 ①障害者差別解消法施行後
の町の公共施設における合理的配慮
の状況について。

②障害のある方への災害時・緊急事
態発生時の合理的配慮の取りくみに
ついて。



ガジュマルの会
あいだ えみ こ 議員
相田 恵美子

問 障害者差別法に基づく町の取りくみの現状について

答 行政と当事者住民とともに学び合いながら考えていく

保護の観点からも法の趣旨に則り
対応に努めていく。今後も関係者の
皆様の声に耳を傾けながら、公共施
設における合理的配慮について取
りくんでいく。

町長 ①奥多摩町は、第5期奥多摩
町長期総合計画の基本方針「みんな
で支えるホットな町づくり」、町地
域保健福祉計画の基本理念「一人ひ
とりがささえあいみんなでつくる
まち奥多摩」の実現を目指して取り
くんでいる。法律施行後の取りくみ
としては、東京都の補助事業を活用
し「人にやさしい道づくり」を実施。
また、ユニバーサルデザインまちづ
くり事業を活用して具体的にトイ
レの洋式化等の改修工事を行って
きた。合理的配慮は、それを必要と
する本人からの申し出、意思表明に
基づき検討されることが基本と言
われている。本人のプライバシーの

②災害時の避難にあたっては、町と
しては合理的配慮に資するものと
して、「福祉避難所の整備を進めてい
る。町では平成27年に町内での特
別養護老人ホーム運営法人と「災害
時における福祉避難所の開設等に
関する協定」を締結し町内4か所の
特別養護老人ホームを福祉避難所
として指定している。今回の感染症
対策も含め、避難所運営マニュアル
の見直しを予定している。要支援者
の状況や希望に応じて一般の避難
所から福祉避難所への移動もスム
ーズに行えるように見直しを図っ
ていく。



清新会 木村 圭 議員

問 町が貸している住宅について

答 町が貸貸している住宅は6種類

質問 町営住宅の目的別に分類するときの、その特徴、個数、設置費用、住宅使用料について。入居者のトラブル、例えば家賃の滞納や不払い、建物や設備の補修、退去時のこみ処理、ルームクリーニングなど必要が生じたときにどのような法的根拠で対応するのか。また、新型コロナウイルス感染症拡大の中、テレワークが進み、新たな住民獲得のため、サテライトオフィスを求めるケースについて町の対応は。町職員と住民が入居するときの住宅使用料の違いについて。

町が賃貸している住宅は6種類		戸数	設置費用 賃貸料
1	住環境に困窮されている方への住宅	22	2億9千万円 4万8千円~2万円
2	低所得者に対して低廉な家賃の住宅	44	6億5千9百万円 ※
3	若者等の定住促進を目的とした住宅	58	15億5千6百万円 5万3千円~2万円
4	災害発生時対応の町職員向け住宅	24	2億7百万円 3万円~1万円
5	災害発生時、危機管理対策職員住宅	1	- 無料(教育長)
6	普通財産として町が所有する住宅	2	- 1万877円~8千5百円

* 公営住宅法施行令で定めた算定による

体的対応策は進んでいないが、民間ベースでは「OKUTAMA+（おきたまプラス）」の連携により、進みつつある。町職員と住民が入居するときの賃料の差はない。



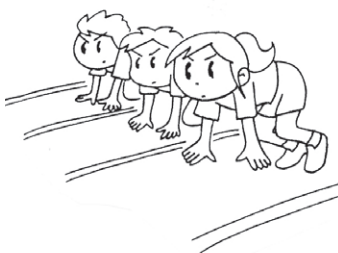
山なみ会 小川 辰美 議員

問 子ども達の体力について

答 コロナ禍の子ども達の体力向上を研究・実践していく

質問 令和元年度にスポーツ庁が公表した全国体力テストの結果、東京都の場合、小学生男子、女子とも中位に、中学生男女とも下位に位置している。これは特に外遊びの減少とされている。また、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛生活が長期間続き子ども達の体力の低下、運動不足でストレスが心配である。自粛後の小中学校の体育、クラブ活動、町体育協会が実施しているジュニア育成事業も再開されてきた。通常、子どもは1日に1時間以上の運動が必要とされている。町としてはコロナ禍で子ども達の体力向上と健康をどのように考えているのか問う。

校については、東京都全体よりやや良好で、原因としては、授業以外の運動時間の減少・スマホ使用過多等が挙げられる。対策として町教育委員会では学校における生活指導や体育授業、部活動、スポーツイベントを通じて生活習慣の改善と体力向上に努め、家庭に向け運動や遊びのメニューを作成配布するなど取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症まん延により臨時休校や外出自粛の要請で体力作りには厳しい環境である。今後もどのようにしたら子ども達の体力向上を図ることができるか研究・実践していく。





清新会 小峰 陽一 議員

問 昨年発生した台風19号の災害復旧状況と今後の対応について

答 令和元年度に続き今年度も災害復旧に努めていく

質問 令和元年度災害復旧状況は、また、今年度の復旧計画は。

町長 令和元年度災害復旧事業は次のとおり。「町道に係る災害復旧工事」は、17件で事業費は3千9百73万9千円。管内全域で道路機能は、復旧している。「林道に係る災害復旧工事」では、16件で事業費は1億2千6百98万2千円。被災した林道の26路線のうち、23路線は、復旧状況にある。残る3路線「寸庭線、大丹波線、名坂線」及び「槐木線」に隣接する残土処分場の復旧は、事業費1千9百95万1千円で設計業務が完了している。「河川に係る災害復旧工事」では、13件の工事が完了し、事業費は2千9百6万1千円である。「観光施設に係る災害復旧工事」では、被災した管理釣場、キャンプ場、遊歩道など19件、事業費は5千69万5千円。特に被害の大きかった役場対岸の「氷川溪谷遊

歩道」は予算を翌年に繰り越すこととし、設計委託中である。「ワサビ田に係る復旧工事」では、甚大な被害となり、国の激甚災害の指定を受け、復旧に取り組んでいる。復旧意向のある60箇所のワサビ田所有者と協議中であるが、年度内の予算執行が難しいことから予算を次年度に繰越とした。今年度の復旧計画は、「町道関係」は1件で、9千9百万円。

「林道関係」は6件、1億1千9百45万円。「観光関係」では4件、6千3百19万4千円。「ワサビ田関係」では、ワサビ田災害復旧設計委託1件、2百3万2千円。ワサビ田復旧工事、6件、その他、ワサビ田復旧6件、作業用モノレール7件の工事で1億4千7百20万円を予定している。



どんぐり 伊藤 英人 議員

問 持続可能な観光立町のためのルール策定について(町営駐車場の運営等)

答 観光客誘致を進めるとともに観光公害の問題も研究していきたい

質問 12月の一般質問で「観光公害(オーバーツーリズム※)」について指摘したが、観光立町のためには観光資源である自然環境の保全が不可欠であり、そのためには住民の権利、観光客の義務、観光事業者の責任を明確化するルールが必要となる。町全域が国立公園である奥多摩町においては、なおさら重要である。

東京都環境局では秩父多摩甲斐国立公園等の「自然公園利用ルール」を発表し利用者や利用団体への啓発をしているが、観光立町を標榜する当町ではより積極的な住民救済と利用者への介入による自然環境保全の考えが必要と考える。特に今年早急に取り組むべき課題として、町営駐車場において、地域住民に対し観光公害(渋滞、騒音、ゴミ投棄等)が発生していると考えられ、有料無料問わず町営駐車場のより合理的な管理運営方法を検討し、

早急なルール作りが必要と考える。また、観光公害の影響を被った住民への積極的な救済措置を検討し、ひいては、住民、観光客、事業者のための持続可能な観光立町を目指して包括的なルール策定をお願いしたい。

※観光公害(オーバーツーリズム)とは、観光客の過剰な来訪により住民生活や自然環境に悪影響が出ること。町長 例年より観光客が多く渋滞等で緊急車両等の運行の支障となる恐れから町長、観光協会長連名で感染防止対策、交通ルール順守、観光マナー啓発のための観光客等向けメッセージを発表。町営駐車場においてマナー、ルール告知看板設置、一部駐車場で夜間閉鎖を実施した。観光立町の町として、引き続き観光客誘致を進めるとともに、観光公害取組の先進事例も参考に包括的ルール策定を含め研究していきたい。



公明党 野宮 明と 議員

問 介護・障がい者施設等へのPCR検査とBCP(事業継続計画)作成について

答 PCR検査を無料で実施できるように体制整備していく

質問 現状のコロナ禍での介護関連施設や障がい者施設等では、緊張の中で運営を続けている。施設内で感染拡大させないために、①職員及び利用者に対するPCR検査の費用を都が全額支援するが、スキーム等の周知徹底など、この事業実施における町の役割は。②西多摩医師会や西多摩地域広域行政協議会の協力のもと、実践的な感染症BCP作成のための研修会を提案しているが、実施となった場合町の支援は。③子育て支援施設など介護・障がい者施設以外の施設でのPCR検査の推進と課題に町の認識は。④保健所、西多摩地域広域行政協議会や8市町村、西多摩医師会、介護・障がい者施設等の連携がなければ、感染症との戦いは、乗り越えることが出来ないのでは。町からさらなる連携強化を関係機関に働きかけを。

町長 ①都は区市町村が実施する

感染症拡大防止に係る経費を支援するものとして、8月に区市町村に対し意向調査を行い、9月に都に交付申請し、10月に審査のうえ交付決定するスケジュールとなっている。町では、町内で感染者が発生した場合、独自でPCR検査を実施した状況によっては休業要請を行う予定。軽症者の自宅・宿泊療養に係る経費の助成を9月補正予算に経上した。今後、関係施設や住民皆様にも周知していく。②研修会には、積極的に参加、町と施設とが一体となってBCPの策定にあたる。③介護・障がい者施設以外の福祉関連施設とその従事者が希望すれば、PCR検査を無料で実施できるように体制整備していく。④関係機関と会議等により連携強化を図り、特に保健所・医師会の果たす役割の重要性を強く働きかける。



日本共産党 大澤 由香里 議員

問 町営駐車場の有料化について

答 メリット・デメリット、実情等により総合的に判断する

質問 東京都がGo Toトラベルの対策外とされたため都民が都外へ出かけることを控え、奥多摩町や檜原村へ殺到している。観光客が押し寄せたことにより住民から様々な声が寄せられるようになった。その中の一つに駐車場の問題がある。今まではみられなかった駐車場でテントの設置やテーブルを設置しての食事、BBQをする観光客が現れるようになり、近隣住民から「観光客の声等で安眠できない」「ゴミの放置、タバコのポイ捨てなどが目に余る」など苦情が噴出し、駐車場の夜間閉鎖や有料化を求める声が寄せられた。そこで町営駐車場の収支状況を踏まえ、駐車場の有料化についての町の考えを問う。

町長 町が管理する町内の有料駐車場は、「氷川駐車場」と「小丹波駐車場」の2箇所、「氷川駐車場」は奥多摩総合開発株式会社へ、「小丹

波駐車場」は小丹波自治会へ管理を委託している。収支の状況については、直近の3か年平均で、「氷川駐車場」の利用料収入は、4百80万3千円、指定管理料と電気料等の支出合計は、5百5万3千円となり、「小丹波駐車場」の利用料収入は、30万4千円で、管理委託料と電気料等の支出合計は、39万2千円と、いずれも収入を支出が上回っている。町営駐車場の有料化については、収支の状況のみで判断すべきものではなく、有料化によるメリット・デメリットを、住民や観光客をはじめ関係する皆様のご意見等にも耳を傾けながら、その地域ごとの実情を把握した上で総合的に判断し、検討していく必要があると考えている。





幸福実現党 宇宙会
もりた のりこ
森 紀子議員

問 コロナ禍での奥多摩町におけるワーケーションの促進について

答 新しいライフスタイルに合致する魅力あるまちづくりを進めていきたい

質問 テレワークができる環境を奥多摩に整えることで、豊かな自然の中で仕事をし、生活を楽しむ若い定住者が増加し、雇用創出も実現し、今現在、奥多摩町に暮らしている子供たちの就職の可能性もひろがり、町外に出て働かなくても食べていける環境を作れ、町に活気が出てくると考える。これによって、財政が豊かになり、補助金だけに頼らない、自立した町へと変わっていくことができるのではないか。

町長 現在、奥多摩町が主体となったテレワークによる新たな住民獲得に資する具体的施策は進んでいない。だが、民間事業者において町内でワーケーションプログラムの開発を行う動きが出始めている。地域の充足度は「定住人口(住民票主義)」の数値で図る時代ではなく、地域で暮らし地域と多様に関わろうとする人々の質的充足度が大切で

あると言われている。町内で動き出そうとしているワーケーションプログラムについては、都内企業のオフィス分散モデルの構築を図り、その後、民家利用のサービスをメニュー化していきたいという内容であり、これにより「関係人口」の増加を目指していくものである。都市にはない、奥多摩町固有の価値を認識し、それを高めるとともに発信し、人々の新しいライフスタイルに合致する魅力あるまちづくりを進めていきたい。



議会日誌

- 8月**
 - 4日 三多摩地区上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 (書面開催)
 - 5日 三多摩地区上下水及び道路建設促進協議会第3委員会 (書面開催)
 - 25日 令和元年度秋川流域斎場組合歳入歳出決算審査 (書面開催)
- 9月**
 - 19日 古里小学校運動会
 - 26日 氷川小学校運動会
- 10月**
 - 12日 西多摩地区議長会定例会
 - 16日 三か町村連絡協議会 (書面開催)
 - 17日 福祉大会
 - 19日 第31回東京都道路整備事業推進大会 (書面開催)

12月定例会等日程(案)

日	月	火	水	木	金	土
12/6	7	8 議会運営委員会	9	10	11	12
13	14	15 本会議 (議案審議)	16 本会議 (議案審議)	17	18 本会議 (一般質問)	19

第2回臨時会日程(案)
11月20日(金)

23日 秋川流域斎場組合議会定例会
会 西秋川衛生組合議会定例会

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。 お問合せ 議会事務局 ☎0428(83)2302(直通)

琴清苑の新築工事を視察

令和2年9月18日(金)

奥多摩病院先にある町有地に建設中の特別養護老人ホーム琴清苑の建設現場を全議員で視察して来ました。

工事は、本体のコンクリート工事が終了し、現在は建物内部の工事が急ピッチで行われています。工期は令和3年1月末の予定だそうです。



建設中の施設は、鉄筋コンクリート造で、地下1階地上3階、2階と3階が入居者用の部屋となっています。そして、96部屋(内2部屋シャワールーム用)すべて個室だそうです。

なお、この施設は災害時に地元住民の方々が避難できる「防災拠点型施設」であり、「地域交流スペース」と呼ばれている部屋が設置されています。

当日は、工事中にも関わらず対応して下さった施設関係・工事関係のみなさんには大変お世話になりました。

「ミニバス」運行中

日原街道崩落箇所には仮設道が設置され、交互通行となっていて「ミニバス」が多くのお客様を乗せて走っています。なお来春3月末に復旧工事が完成する予定です。



《お詫びと訂正》

町議会だより前号(194号)3ページの①森田紀子議員の質問中の「現在奥多摩病院では」は「現在奥多摩町では」の誤りです。

お詫びして訂正いたします。

編集後記



世界中に蔓延している新型コロナウイルスは衰えを見せず、私達の生活を脅かす状態が続いています。当初、このウイルスは一度かかると免疫ができるものと思われていましたが、最近では再感染する事例が出てきます。再感染すると重症化する傾向にあるとも言われています。幸いにも町内での感染者は最小限で推移していますが、もう一度気を引き締めて、大切な人を守るため、感染しない、感染させないを合言葉に、「マスクの着用」「定期的な換気」「ソーシャルディスタンス(人との距離を2m以上とる)」「こまめな手洗い」「タオル、歯みがき、コップなど共用しない」「盛り付けは個々に」「ドアノブやスイッチなどこまめな消毒」「外出時は、虹のスッカーのお店で」など、感染防止により一層心掛けて、健康を維持していきましょう。

(小峰 陽一)

伊藤 英人 相田恵美子

宮野 亨 高橋 邦男